マスコミ掲載履歴①(2021年度~)

○2021年5月

テレビ大阪「やさしいニュース」

「全国初、学生の生理休暇制度導入」

本校の生徒会活動が紹介されました。 全国初学生の生理休暇導入、LGBTQへの取組み、SDGs 活動について





※映像はこちらから

○2022年4月

NHK 広島放送局

『核兵器禁止条約 若者が〝模擬〟締約国会議』

核兵器の保有や使用を禁止した核兵器禁止条約の初めての締約国会議がことし6月、 オーストリアで開催されるのを前に、若者たちが各国の代表になりきって会議を開催。 本校生徒が最年少参加者として密着取材を受けました。



マスコミ掲載履歴②(2021 年度~)

○2022 年 4 月

朝日新聞朝刊

「住吉区防災パンフレット作成の取組みについて」

本校の生徒会活動が紹介されました。

住吉区の防災パンフレット (日本語・英語・韓国語・中国語) 作成までの経緯・調査内容などインタビューを受けました。

防災情報 外国人に寄 ŋ

取り組んできた。

災情報を分かりやすく伝える 必要性を感じたという。 のうち3割弱だった。地域の と答えたのは、回答した60人 年9月末時点)。だが昨年、 冊の力作となる予定だ。 日本語版を作ったので、計16 つながりが薄い外国人に、防 学さんらが町内会長にアンケ 語版、韓国語版、中国語版、 得意の語学力を生かして、英 4判の冊子にまとめている。 化さん(2年)ら生徒会のメン 外国人は約4500人(昨 父の4分野を、それぞれA 国人とあいさつを交わす」 トをしたところ、「近隣の 住吉区によると、区内在住 一約15人。地震、津波、台風 原案を作成したのは、李陽 ハンフレットの原案は、

「住吉区 内 で配布

とにつながるといい」と話 ち物、災害用伝言ダイヤルの 内の避難場所や、避難時の持 塀に近づかない」などを挙 岸に近づかない」「ブロック 場所に置いてもらえたら。 李さんは「いつでも手の届く 保険の説明も盛り込んだ。 した場合の備えとして、地震 性を伝えている。自宅が被災 いけない行動」として、「海 使い方などを記載。「しては ながら作成した。 けの防災情報などを参考にし の自治体が発信する外国人向 人でも多くの人の命を救うこ け、津波や建物の倒壊の危険 配布予定の冊子について、 地震に関する説明では、



国人に配りたいという。

建国高生原案 4 力 国語パ

えを考えてもらおうと、

ト原案を見せる建国高校 の生徒ら=大阪市住吉区 作成した防災パンフレッ

マスコミ掲載履歴③(2021年度~)

○2022年6月

朝日新聞朝刊

「『核兵器なくすべきか』 ある高校生が立てた問い 全校生徒は考えた」

オーストリア・ウィーンで開かれている核兵器禁止条約の締約国会議に合わせ、 現地入りした大学生たちとオンラインで意見交換する様子が朝日新聞に掲載されました。

れを象徴するのが核兵器禁止

論されるようになった。

KES

(KN

KES TOK*NOW



大阪本社社会部 ☎06(6231)0131(代) fax 06(6201)3143 mail:o-syakai3 @asahi.com

広告(土日祝除く) 大阪朝日広告社 06(6205)8080 折り込みは 朝日オリコミ大阪

06(6226)1290

0120-33-0843 (7:00~21:00)



@asahi_osakaban 大阪版のツイッター つぶやいてます。

大市内。14版△

議を開くこと自体が、世界全

っていると示す機会になる 体で核兵器廃絶の空気をつく 2022年(令和4年)6月27日(月)

く活動を始めた。

とオンラインで意見交換する 生徒4人が集まっていた。ウ ィーンで開かれている核兵器 宗止条約の締約国会議に合わ 現地入りした大学生たち 『核兵器が落とされたら 建国高校の一室に

きだと思いますか。 校の生徒たちがこんな問いか 核兵器を世界からなくすべ 大阪市住吉区の私立建国高 核兵器の問題を考えてい

亲厅

建国高生が全校生徒に問いかけ

何が起こるか』という視点で

す姿に心が揺さぶられた。 被爆者の男性が言葉を絞り出 の中で原爆の放射線を浴びた 初めて触れたのは、今年1月 に被爆証言会。母親のおなか 黒崎さんが「被爆体験」 KNTがオンラインで開い 12

年の黒崎斗真さん(17)は「会企画した一人で建国高校2

の高橋悠太さん(21)が報告し

の共同代表で慶応大4年

参加国の「大使」になった設 約国やオブザーバー 約国会議」に参加することに 高校生と大学生ら32人が締 KNTが企画した 黒崎さんは議長国オースト



ウィーンと結び、大学生たちと画面越しに議論を交わす建国高校 の生徒たち。その様子はライブ配信した=22日、大阪市住吉区

る場をつくりたい」と先生に

(16)と「核兵器のことを考え ていた同級生の李陽花さん

い。黒崎さんは会議に参加し ことを、同年代に共有した

模擬会議に参加して感じた

現地 とオ

学校◆ 乙本社 オンライン 見学募集中

06.6201.8033

朝日新聞見学係 平日10:00-17:30

国は一つも参加していない。 いて考える場が必要だ」と話 李さんは「世界全体で核につ い。だからなくすべきだ。 こく簡単なことだと思う」 核兵器禁止条約には核保有 黒崎さんは「核兵器は危な ने

実験をするんだろう」。議論 なのか」「北朝鮮って何で核 界からなくすべきか」を話し 全生徒150人ほどが体育館 に集まった。10人ほどのグル 4月初旬、 「日本は核兵器を持つべき 高校1~3年の 「核兵器を世

えるけど、理由もそれぞれな めるうち、黒崎さんは気づい リアの担当になった。 大使」たちと話し合いを進 3月の会議に向け、 「それぞれ核兵器廃絶を訴 、各国の

マスコミ掲載履歴④(2021年度~)

○2022年6月

朝日新聞デジタル

「ウガンダのドライフルーツで孤児を救いたい 24 歳が高校生とコラボ」

アフリカ東部・ウガンダで作ったドライフルーツを売り、
孤児たちを支援している方とのコラボレーション企画が紹介されました。

朝日新聞

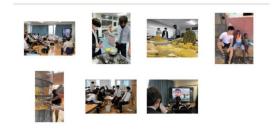
ウガンダのドライフルーツで孤児を救いたい 24歳が高校生と コラボ

有料会員記事

大滝哲彰 2022年6月27日 5時00分



石崎陸さん=本人提供 🔼



アフリカ東部・ウガンダで作ったドライフルーツを売り、孤児たちを支援する計画が進んでいる。企画したのは現地で 孤児院 の支援に取り組む24歳の男性。コラボするのは大阪の高校生たちだ。

6月14日、建国高校(大阪市 住吉区)の教室。ウガンダにいる石崎陸さんが、パソコンの画面を通じて生徒たちに語りかけた。

「(孤児院の)窓ガラスは割れたままで、雨漏りも直せないなか、救えるはずの子どもたちが目の前にいる。今すぐにでも支援が必要な状態です」

在日コリアン の生徒らが通う同校の「総合的な探究の時間」では、生徒が「校則」「図書室の改革」「日韓友好」などのテーマを学ぶ班に分かれる。

そのうち一つの班では、世界でも 最貧国 の一つに 数えられるウガンダの情勢や、ドライフルーツの作り 方などを研究している。石崎さんが講師役だ。

この日、生徒からは現地の食事情や教育について

の質問が相次いだ。李(イ)陽花(ヤンファ)さん(2年)は取材に、「学校に行けず栄養失調になっている子どもたちが、一日でも早く栄養を取れるようにしたい」と話した。